

# 久慈市山形市民センター 『地域のセンセイによる広がる体験活動』

～山形地区放課後子ども教室・子どものあつび場の取組みについて～



みずき団子づくり



ペンキアート体験

## 取組内容

### ○みずき団子づくり

地域のセンセイに指導していただき、伝統のみずき団子づくりの体験をした。地域の伝統を次代につなげる活動としても、意義のある活動になっている。

### ○ペンキアート体験

市内の地域おこし協力隊の協力を得て、大きなシートにペンキで自由に絵を描く体験活動を行った。専門家に指導していただき、授業の中ではなかなか取り組めない活動をダイナミックに行うことができた。

### ○ゲートボール教室

地域人材の指導で活動を行っているゲートボールは、大会にも出場して入賞を果たすなど、大きな成果を収めている。

## ポイント

地域人材が豊かで、子どもたちを育てることに積極的に関わってくださる方が多くいるので、連携して多様な取組みを展開することができる。

## 事業成果

- ・令和7年度は、参加登録人数27名で、参加児童延べ人数は、173名だった。
- ・地区内2小学校と市民センターを会場として、6月～1月の毎週火曜・木曜に実施した。
- ・サポーターは延べ22人、ボランティアは8名で、子どもたちを育てる地域の大人の方にも多数ご協力いただき、子どもたちと地域の方々の交流の場としても、意義のある活動が展開できた。
- ・地域人材を活かして、地域の伝統的な活動や、授業ではなかなか取り組むことができないダイナミックな活動を計画することができ、子どもたちが地域の人を知り、いきいきと活動する姿が見られた。

## 課題や今後の取組み

地域の子どもの数も激減し、令和7年度末で、来内小学校が閉校し、地区内では山形小学校1校だけになってしまう。児童数が減ったとしても、地域に住んでいる子どもたちの安全を守り、体験活動を充実させていくことが課題となっている。

令和8年度から、該当地区に新しく学童クラブ（Gatagon Base）が立ち上がる。

活動場所が重複することもあり、子どもの放課後の居場所を確保する学童クラブと、地域人材を活かした体験活動を重視する放課後子ども教室が連携して、より充実した子どもたちの居場所を作り上げる計画を立てている。

## メッセージ・ひと言

多様な体験をしてもらうために、外部講師や地域の団体と協力して、大人との交流を行うようにしました。季節の行事を取り入れたり、作品制作やゲーム的な活動を取り入れたりして進めることができ、元気な子どもたちのパワーをもらうことができました。（コーディネーター、サポーターの感想）